# 令和5年度 神之木地域ケアプラザPDCAシート\_公表用(事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

	表									
事	業計									
	地	或の現状と今後の方向性								
【神之木西寺尾地区】人口:17,658人 高齢化率:21.83% 第4期地域福祉保健計画のスローガン:支え合う「向こう三軒両隣」のまち 神之木西寺尾 地域の高齢化率の高い地域・低い地域は 西寺尾2丁目:26.57% 西寺尾四丁目:19.15%となっています。 例年であれば、7月頃盆踊り大会 11月頃地域交流まつり 12月頃おたのしみ会 を実施しています。										
<b>ו</b>	第地	.地区】								
[	第地	・七島地区】 人口:14,717人 高齢化率:25.29% 4期地域福祉保健計画のスローガン:みんなで助け合う町 大口七島 域の高齢化率の高い地域・低い地域は 西大口:26.96% 大口通り:24.65%となっています。。 年であれば、4月頃地域交流まつり7月頃盆踊り大会 12月頃年忘れおたのしみ会 を実施しています。								
[ <del>4</del>	長し地域	D方向性】 間、例年の行事が中止となり、住民の町内会活動への関心が薄くなってきています。 ば活動への関心が高まるよう、地域とともに感染予防を継続しながら、実施できる 『やイベントを企画・実行に移していきます。								
	今	<b>年度の重点的な取組</b>								
新	4hb									
規		一具体的な取組内容一								
		ー具体的な取組内容一 ・朝礼で「気になること」として個別相談の内容や地域情報の共有を行う。								
規	続	7.44.1.5.5								
規□□	■	・朝礼で「気になること」として個別相談の内容や地域情報の共有を行う。 ・地域が興味を持つテーマを選定し、積極的に地域づくりに参加できる場づくりを通じて、地域の方々の地域支援								
見□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	続	・朝礼で「気になること」として個別相談の内容や地域情報の共有を行う。 ・地域が興味を持つテーマを選定し、積極的に地域づくりに参加できる場づくりを通じて、地域の方々の地域支援がそのまま、地福計画となることを実感でき、地福計画を身近に感じられるようにする。 ・3地区の地区別計画を推進するため、毎月の区との情報共有・意見交換を行い、町会長会議・地区社協・民児協								

#### ◆ 事業報告・事業実績評価

## □ 振り返り

神之木地域ケアプラ運営体制は、今年度4月 法人内異動により副所長を配置し運営体制の体制強化を行いました。しかし、地域の活動が活発になる中で8月から職員の欠員・休職があり、他の職員による対応を実施しましたが、地域の方々には地域ケアプラザからの支援が不十分となり、行き届かなった部分もあったかと思います。

相談支援の状況は、地域ケアプラザの認知度も上がってきており地域の方々からの相談件数は増加しています。多くの相談の中には、いくつもの課題を抱えている方からの複雑な相談や特殊なケースでの相談もあります。相談者からの課題を職員全員で受け止め解決するために、毎日、朝礼の時間を取り、職員間での情報共有と援助方針を決定し、一人ひとりに寄り添った支援に活かしています。

相続・後見に関する権利擁護支援ニーズを抱えた方には、本人・家族や頼りにしている方と相談しながら専門家である弁護士・司法書士や区役所と連携し、より良い解決策を見つけながら支援を行いました。

地域で「高齢者が要介護状態となっても自分らしく過ごしたい。」とのニーズ答えるため、地域ケア会議を開催しています。神之木地域ケアプラザでは、会議のテーマを「認知症」と定めて地域の事例からテーマ選定し会議を開催しました。地域の方々、医療・介護・福祉に係る様々な職種の方々と共に、認知症の方が抱えるニーズを共有し、地域でできる支援について考える機会を持ちました。地域ケア会議の中で、認知症の方が抱える多くの課題の一部ではありますが、解決につなげることができました。

地域活動は、「子育て支援」に重点を置き、子どもと子育て世代の悩みの解決につながるような取組や支援を積極的に行いました。

これからも地域の様々なニーズに対して、新たな取り組みの工夫や過去からのノウハウの蓄積を活用し、関係者の支援 とご協力を賜りながら地域の方々から頼られる地域ケアプラザを目指して活動してゆきます。

#### □ 区からのコメント

今年度は、地域の活動が活発になる中で、試行錯誤しながら地域の支援を進めた1年だったかと思います。職員が休職等で長期間不在になることもあり、組織運営には苦慮されたかと思いますが、何とか1年間乗り切ってもらったと考えています。

相談支援では、地域の障害施設とのつながりから、新たに3施設で広報誌を配布したり、ケアプラザから遠いエリアのために出張相談窓口を開設するなど、相談機能の周知、アウトリーチに取り組みました。

また、社会資源の開拓・開発・支援では、新規ボランティアの発掘が難しい中で、コロナ前にボランティアをされていた方に手紙を送ることで、3名のボランティアに復帰してもらうなど、地道な働きかけが目立ちました。

区行政との協働に挙げられた、一人暮らし高齢者等への手紙送付を通した見守り活動は、今までの地区社協の活動を 進化させた取組となっており、地域ケアプラザの役割が重要になる事業と考えています。

認知症支援事業では、地域住民への啓発に力を入れており、認知症カフェの支援や近隣商業施設への認知症サポーター養成講座の案内などを行っています。今後は、認知症が疑われる人の情報を情報アンカーとして集約し、必要な支援を行う機能の拡充を期待しています。

在宅医療・介護連携事業では、地域の医療機関、薬局と連携し、ケース支援を行いました。介護関係者に対する相談支援における地域ケアプラザの役割は一層大きくなることから、ケアマネージャーとの信頼関係の構築を進めていただきたいと考えています。

地域に根差した取組により、住民の信頼を得られていると思いますので、今後も地域のニーズを丁寧に収集し、職員も育成しながら効果的な支援を行ってもらいたいと考えています。高齢化が進んでいる中で相談件数も増加しているところですが、適切なアセスメントのもと課題を抽出し、住民の相談にきちんと向き合うことで、より信頼される存在になれるよう、よろしくお願いします。

# 令和5年度神之木地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

. 776	の成り担対を注目について	
	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	公正・中立性の確保について、朝礼報告、相談レビューを通じて対応状況の把握し、指導・啓発を行います。また、利用者アンケートを通じて公正・中立性が確保されているのかを確認します。	個人情報保護、事故の防止については、月次の研修・報告を通じて啓発を行い、事故発生防止及び個人情報保護に努めます。また、事故等の緊急時対応マニュアル及び個人情報保護取扱マニュアルに沿った対応を行います。
実績	実施するよう適時に朝礼等で指導・啓発を実施した。 10月に利用者アンケートを実施し、相談・サービスの	神奈川区 地域ケアプラザ所長会での個人情報保護、事故の防止研修を朝礼にて職員に研修として実施した。個人情報保護チェックシートを中途採用を含め全職員に実施した。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

<u> </u>	官定介護予防文援爭某、居宅介護文援爭某	
	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	要介護状態になる事を防ぎ、地域で自立した日常生活が続けられることができるよう支援します。	自立した居宅生活を支えるために適切なサービス情報の提供とサービス計画を提案します。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額 【その他料金】
職員体制	<ul><li>□ 所長 1名</li><li>□ 看護師 1名</li><li>□ 主任ケアマネージャ 1名</li></ul>	□ 所長 1名 □ 専従主任介護支援専門員 1名 □ 専従非常勤介護支援専門員 2名
契約 者数	R5年3月末:336名(自社75名、委託261名)	87件

## 3 通所系サービス事業

	通所介護·第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介 護	地域密着型通所介護·第1号通所 介護
目標			状態悪化の防止とADL維持向上のための計画書作成及び個別機能訓練計画書作成とサービス提供、および再計画の作成
		【実施日数】	【実施日数】週6日(月~土)
実施		【提供時間】	【提供時間】9:00~16:05
体制		【定員】	【定員】 18名(第1号と併せて)
	額の算定に関する基準(厚生省告 示第十九号)及び横浜市介護予	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する 費用の額の算定に関する基準(厚 生労働省告示第百二十六号)及び 指定地域密着型介護予防サービ スに要する費用の額の算定に関す る基準(厚生労働省告示第百二十 八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する 費用の額の算定に関する基準(厚 生労働省告示第百二十六号)に基 づく金額
	【その他料金】	【その他料金】	【その他料金】
			昼食代:720円
職員体制			所長:1名 相談員:3名(兼務) 看護職員および機能訓練指導員 4名 介護職員 9名
契約 者数	【延べ利用者数】	【延べ利用者数】	【延べ利用者数】 996名
	【契約者数】	【契約者数】	【契約者数】55名

## 令和5年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 ■ 事業の性質

1:地域活動交流事業 2:地域包括支援センター運営事業 3:生活支援体制整備事業 4:共催(1と2) 5:共催(1と3) 2:福祉保健活動に発展させることを

6:共催(2と3) 7:共催(1と2と3)

1:優先的に取り組みが求められる事業 1:高齢者 2:障害児・者 3:養育者及び乳幼児

■ 主な対象者、従たる対象者

4:子ども・青少年 5:地域 6:事業者

ねらいとした事業 7:その他

						-					合	計
No	事業名	開始年度	事業	事業の 性質	事業目的	主な 対象者	従たる 対象者 (複数選択 可)	事業内容·実施時期	実施回数	延べ 参加 人数		
1	絵本読み聞かせ (地域活動交流)	平成16年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り 組み	総本を通じて子どもの感情や情緒を豊か に育むことを目的として活動。活動の主体 (読み手)はボランティアであり、ボランティ アにとっても活動が生きがい作りとなる。 乳幼児や保護者と先輩ママ世代や高齢世 代のボランティアとの世代間交流の場とも なっている。	3:養育者及 び乳幼児	5	絵本の読み聞かせ(手遊び、紙芝居、パネルシアター他)、ポスター作製を行う。開催時にケアプラザの子育て支援事業の情報提供を行う。 ○読み聞かせの会(偶数月)、ボランティア交流の会(奇数月)	12	163		
2	おやこふり一すペーす (地域活動交流)	平成19年度	1:地域活動交 流事業	1:優先的に取り 組み	地区センターブレイルームのような感覚 で、多目的ホールを開放。ふらっと親子で 遊びに来ることのできるスペースとして提 供。情報交換の場とした目的もある。	3:養育者及 び乳幼児	5	地区センター休館日の第4月曜日午前中に多 目的ホールを開放。 〇毎月1開催	12	45		
3	脳トレ倶楽部 (地域活動交流)	平成21年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り 組み	脳を使うことによって認知症予防を目的とする。参加者同士が一緒に頑張る仲間としての場の提供、介護予防を意識した生活をしていけるよう支援する	1:高齢者		テキストを用いて、計算・音読・漢字・色読み等を行う。テキストの印刷・会場準備・片付け等を参加者で行っている月2回(毎月)開催。6月はケアブラザ企画、参加者と職員との交流内容で開催。	21	262		
4	神経難病ふれあい交流会 (地域活動交流)	平成13年度	1:地域活動交 流事業	1:優先的に取り 組み	病気の性質から、地域で孤立・自宅へ引き こもりがちな患者と家族が集まることので きる場所を確保し、参加者同士の仲間作り や社会参加の支援をする。また、それぞれ が抱えている悩みを共有することにより、 病気に対する不安感や絶望感の軽減を図 ることを目的としている。	2:障害児・者	1, 5	神経難病(パーキンソン病・脊髄小脳変性症・多 系統萎縮症など)の患者と介護者のための交流 会。区役所・ケアブラザ・地域のボランティアが 参加、講師を招いての体操・音楽・講演会を行っ ている。年6回開催	6	78		
5	ダブルケアカフェ (地域活動交流)	平成28年度	4共催(1と2)	1優先的に取り 組み	社会で孤立しがちなダブルケアの方同士 の交流の場を作り、情報交換を行う。子育 て情報や介護情報を提供、一つの場で双 方の情報が得られる空間とする。	3:養育者及 び乳幼児	2, 4, 5	ダブルケアについての理解、ダブルケア当事者 の話、参加者のフリートーク 5回開催中 神之木CP3回担当参加。 (1回、対面、1回、オンライン、1回、新子安CP 介護者のつどいと合同開催)	3	31		
6	かなプチ子育て応援タイム (地域活動交流)	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り 組み	地域の子育て世代の支援、子ども支援 地域の子育て支援に関する施設同士の施 設間連携。	4:子ども・青 少年		8月「影絵de遊ぼう」 10月「骨盤すっきりリフレッシュ体操」 1月「お話の会」	3	111		
7	かみのき子育で支援事業 (地域活動交流)	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り 組み	親子が地域の中で楽しむ場を提供。地域 の親子とデイサービスの交流。	4:子ども・青 少年	1.3	12月、Happyクリスマス 親子で楽しく作り物をする。 デイサービスの利用者と子どもとの交流を図 る。	1	43		
8	かみのきくらぶ(地域活動交流)	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り 組み	年代問わず、どなたでも参加できる。「作り物」をしながら参加者同士が交流を図る 会。	5:地域		12月、小物入れづくり クリスマスフラワーアレンジメント	2	23		
9	障がいに関する理解と支援者 交流会・施設見学 (地域活動交流)	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り 組み	障がいに関する理解・啓発 関係機関との連携 地域との連携	2:障害児・者	5	1月、地域住民(民生委員)と関係機関の交流、 意見交換 3月、あすなろ会の施設見学(活動の場、グルー ブホーム見学)。 当事者、地域住民、関係機関との交流	2	41		
10	貸館利用団体 交流·施設利用説明会 (地域活動交流)	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り 組み	貸館登録団体との交流、施設利用についての確認、団体同士の情報交換・交流	5:地域		団体交流、利用の変更事項の説明、情報交換、 意見交換、他 〇6月に2回開催	2	27		
11	はーとふるステーション	平成30年度	7:共催(1と2と 3)	2:発展させるねらい	認知症の理解と啓発。	1:高齢者	5:地域	認知症への理解と共存。当事者と家族の 拠り所・CPの周知とボランティア育成を含む 内容とする。	10	107		
12	地域を対象とした認知症サポータ一養成講座	令和3年度	7:共催(1と2と 3)	1:優先的に取り組み	認知症サポーターの養成。地域にも多くの 認知症の人やその人を介護する家族がい ることを知ってもらい、温かく見守ることが できる地域づくり、自分ができる範囲での お手伝いができるようなサポーターの養成 を目的とする。	5:地域	1	神之木エリアでで活躍しているキャラパンメイトを講師に迎え、認知症の正しい理解と認知症高齢者本人とその家族を温かく見守るサポーターの養成講座。	2	37		
13	内科医による認知症相談会	平成26年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り 組み	医師の立場からのアドバイスをもらうことで、認知症の方やその家族の方が、認知症に対する理解を深め、今後の在宅生活を安心して送っていただけるようにする。	1:高齢者	5	主に第2・第4木曜日の13:30~14:30で申し込み制(一人30分)	19	2		
14	在宅の高齢者に必要な薬剤師の講座	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り 組み	薬剤師が、災害時に必要なお薬手帳の所 持や啓発等を地域で行うことで、高齢者の 要介護状態悪化を防止する。	5:地域	1	地域からの要請を受け、地域に薬剤師が出向 き、地域住民にお薬手帳の重要性等についてお 話をしていただく。	1	30		
15	認知症を理解する講座	平成30年原	4:共催(1と2)	1:優先的に取り 組み	認知症と認知症対応の知識を深め地域の ニーズを共有することで高齢者を取り巻く 環境を整備する狙いがある。	5:地域	1	地域のシニアクラブや高齢者の集まりの場で認知症の方への対応の仕方や基礎知識等をお伝えした後にディスカッションや質疑応答で知識を 深める。	1	15		
16	ケアマネジャーと民生委員の勉 強会	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り 組み	ケアマネジャーと民生委員の交流も兼ね た勉強会を実施 ACPの普及啓発	5:地域	1	<ul><li>・サービスBの普及啓発のための勉強会</li><li>・CMが予防のブランにサービスBを入れることができるようにする</li></ul>	1	7		

■ 事業

1:地域活動交流事業 2:地域包括支援センター運営事業

3:生活支援体制整備事業 4:共催(1と2) 5:共催(1と3) 2:福祉保健活動に発展させることを

6:共催(2と3) 7:共催(1と2と3) ■ 事業の性質

1:優先的に取り組みが求められる事業

ねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

1:高齢者 2:障害児・者 3:養育者及び乳幼児

4:子ども・青少年 5:地域 6:事業者

7:その他

									슴	·計
No	事業名	開始年度	事業	事業の 性質	事業目的	主な対象者	従たる 対象者 (複数選択 可)	事業内容·実施時期	実施 回数	延べ 参加 人数
17	ふれあい訪問員研修	令和4年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り 組み	ACPの地域への普及啓発	5:地域	1	生活支援コーディネーターと主任ケアマネジャー2名によるACP(人生会議)ともしも手帳の講座の実施	1	36
18	西大口和楽会との勉強会	令和5年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り 組み	ACPの地域への普及啓発	1:高齢者		ACP(人会会議)ともしも手帳の講座の実施	1	24
19	介護者のつどい	平成22年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り 組み	介護者がお互いに交流できる場、リラックスできる場、介護に関する講座を提供し、 介護者の支援を行う。	1:高齢者	5	介護者同志が話し合える場の提供。参加者に 新型コロナワクチン予約状況、新型コロナ禍の 過ごし方、本人や介護者の体調の変化、現在の 介護の状況や悩み等をテーマに自由にお話頂 いた。介護に関する講座を開催した。	6	2
20	司法書士·行政書士無料相談会	平成24年度	2:地域包括支援センター運営事業	1優先的に取り 組み	高齢者の権利擁護のため、法律に関する 相談を身近なケアブラザで気軽に相談で きる機会を確保する。	1:高齢者	5	「成年後見」「相続」「遺言」を中心に、法律全般 に関する無料相談会開催。	2	
21	ライフデザインノート活用講座	平成30年原	5:地域包括支援センター運営 事業	1優先的に取り 組み	実際にライフデザインノートを書くことを通して人生を振り返り、自分の思いをまとめ、これからの暮らしを考えるきっかけにしていただくことを目的とする。	5地域	7	①マネーブラン②遺言相続について③これから の治療・ケアについて④介護予防健康寿命、4 つの分野の講演と書き方の説明。	1	10
22	ライフデザインノート出前講座	平成30年原	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り 組み	実際にライフデザインノートを書くことを通して人生を振り返り、自分の思いをまとめ、これからの暮らしを考えるきっかけにしていただくことを目的とする。	5地域	7	ライフデザインノートとは、記入のポイントの説 明。	2	2
23	法律の専門家との座談会	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り 組み	高齢者の権利擁護のため、介護保険事業 や医療機関との連携により、成年後見制 度利用の促進を行うことを目的とする。	6:事業者		法律の専門家との座談会を行うことにより、成 年後見制度活用の必要なケースに対し①成年 後見制度活用の必要な人への気付きの意識高 揚②メリットを感じられる制度説明による繋ぎ③ 本人意思の適切な把握のため関係機関、地域 住民との連携を図るにはどうしたらよいか考え る。	1	į
24	介護予防 出前講座 (地域活動交流)	令和5年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り 組み	地域のサロンとの交流、継続支、開催内容の相談	1:高齢者		地域サロンで、認知症予防、脳トレ、レクを開催。 〇11月 大口本町長寿会	1	1:
25	く一る一む、ほっとる一む (地域活動交流)	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り 組み	居場所、クールチェア、交流	5:地域		ー 日フリースペースとして開放。フリーで過ごす場、企画として参加できるコーナーを設け誰でも 気軽にア費を運んでいただける内容にしている。 〇く一る一む(うちわづくり他7月開催)、ほっと スーよく12月間(#)	2	18
26	すくすくかめっ子方面別交流会 (地域活動交流)	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り 組み	かめっ子支援者への支援 交流・情報交換	5:地域		ムース・(19月間度) かめっ子支援者との情報交換	1	40
27	うらしま荘子どもおたのしみ会 (地域活動交流)	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り 組み	・地域のこどもと高齢者の世代間交流 ・子どもの居場所、地域との連携 ・主任児童委員との連携 ・ケアプラザの周知	4:子ども・青 少年	1. 5. 7	ケアプラザの周知に関するすごろく	1	3:
28	西寺尾町学校と神之木デイ サービスとの交流会 (地域活動交流)	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り 組み	小学生と地域の高齢者施設との交流。 高齢者との交流から社会を学ぶ。	5:地域	1, 4	けん玉を通して小学生と高齢者(神之木デイ サービスの利用者)と交流。プログラム、進行は すべて小学生たちが、進める。毎回、高齢者の 意見を取り入れ、小学生が工夫してかを進め る、4回の交流。 10、11,12,2月	4	18
29	かみのき地区センまつり (地域活動交流)	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り 組み	3館共催、複合館の強みをいかす、3館の連携、3施設の活動や役割の周知・啓発。 地域との交流。	5:地域		各館それぞれがプログラムを考えるが共通の目的をもってまつりを開催 11月1回開催	1	1669
30	3館イベント (地域活動交流)	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り 組み	3館で協力しながらイベントを開催。それぞれの役割を考えながら地域の施設として知っていただく。	5:地域		12月 ゴスペルコンサート 1月 新春三線	2	240
31	障がいに関する理解と支援者 交流会・施設見学 (地域活動交流)	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り 組み	障がいに関する理解・啓発 関係機関との連携 地域との連携	2:障害児・者	5	1月、地域住民(民生委員)と関係機関の交流、 意見交換 3月、あすなろ会の施設見学(活動の場、グルー ブホーム見学)。 当事者、地域住民、関係機関との交流	2	4
32	池下寿楽会との勉強会	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り 組み	ACPの地域への普及啓発	1:高齢者		ACP(人会会議)ともしも手帳の講座の実施	1	20
33	は一とふるステーション番外編「オレンジ・ランプ」上映	令和5年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り 組み	認知症の理解・啓発と地域に向けてケアブラザの周知を図る。	5:地域		映画「オレンジ・ランプ」上映と認知症サポーター 養成講座受講の募集	1	69
34	大口東総合病院整形外科Drの 医療講座	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り 組み	高齢者に共通する整形の課題を取り上げ、対処方法や予防について理解する。	5:地域		大口東総合病院整形外科部長の吉田先生の医療講座「股関節の痛み・骨粗しょう症」	1	28

■ 事業

1:地域活動交流事業 2:地域包括支援センター運営事業

3:生活支援体制整備事業 4:共催(1と2) 5:共催(1と3) 2:福祉保健活動に発展させることを

6:共催(2と3) 7:共催(1と2と3) ねらいとした事業

■ 事業の性質

1:優先的に取り組みが求められる事業 1:高齢者 2:障害児・者 3:養育者及び乳幼児

■ 主な対象者、従たる対象者

4:子ども・青少年 5:地域 6:事業者

7:その他

							従たる		合	計
No	事業名	開始 年度	事業	事業の 性質	事業目的	主な 対象者	対象者 (複数選択 可)	事業内容・実施時期	実施 回数	延べ 参加 人数
35	松見町2丁目西部町内会スマ 木講座	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り	松見町2丁目西都にお住いの高齢者が大原学園の学生ボランティアにスイか操作 原学園の学生ボランティアにスイか保存 を直接学ぶ講座。高齢者がスマホの操作 ができるようにすることと同時に居場所の 確保・安否確認・CPの周知を目的とする。	1:高齢者		松見町2丁目西部にお住いの高齢者を対象としたスマホ講座の実施	1	13

## 令和5年度「神之木地域ケアプラザ」 収支予算書及び報告書(一般会計)<地域活動交流>

収入の部 (単位:円)

収入合計	19,483,010	1,901,588	21,384,598	21,407,398	△ 22,800	
その他	1,977,500		1,977,500	1,977,500	0	施設利用料相当額控除
その他			0	7,000	△ 7,000	
自動販売機手数料			0		0	
印刷代			0		0	
雑入	0	0	0	7,000	△ 7,000	
自主事業収入(指定管理料充当の自主事業)			0	15,800	△ 15,800	
指定管理料	17,505,510	1,901,588	19,407,098	19,407,098	0	横浜市より
科目	当初予算額(A)	補正額(B)	予算現額(C=A+B)	決算額(D)	差引(C-D)	説明

#### 支出の部

文山の部	当初予算額	補正額	予算現額	決算額	差引	
科目	(A)	(B)	(C=A+B)	(D)	(C-D)	説明
人件費						
本俸	9,579,510	0	9,579,510	10,934,400	△ 1,354,890	
社会保険料	6,269,510		6,269,510	9,604,927	△ 3,335,417	
手当計	800,000		800,000	880,355	△ 80,355	
健康診断費	2,300,000		2,300,000	227,385	2,072,615	
	50,000		50,000	62,724	△ 12,724	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	150,000		150,000	150,188	Δ 188	
その他	10,000		10,000	8,821	1,179	
事務費	3,060,500	0	3,060,500	1,018,744	2,041,756	
旅費	70,000		70,000	35,380	34,620	
消耗品費	600,000		600,000	296,748	303,252	
会議賄い費	30,000		30,000	2,508	27,492	
印刷製本費	250,000		250,000	88,087	161,913	
通信費	500,000		500,000	220,242	279,758	
使用料及び賃借料	150,000	0	150,000	126,709	23,291	
自販機目的外使用料(横浜市への支出)	0		0		0	
その他	150,000		150,000	126,709	23,291	
備品購入費	500,000		500,000		500,000	
図書購入費	50,000		50,000		50,000	
施設賠償責任保険	50,000		50,000	24,799	25,201	
職員等研修費	70,000		70,000	21,335	48,665	
振込手数料	70,000		70,000	32,241	37,759	
リース料	0		0		0	
手数料	50,000		50,000	9,712	40,288	
地域協力費	0		0		0	
その他	670,500		670,500	160,983	509,517	
事業費	1,206,000	0	1,206,000	95,409	1,110,591	
運営協議会経費	0		0	·	0	
自主事業費(指定管理料充当の自主事業)	1,206,000		1,206,000	95.409	1,110,591	
その他	, ,		0	,	0	
管理費	4,259,000	0	4,259,000	3,235,932	1,023,068	
光熱水費	2,736,000	-	2,736,000	2,211,124	524,876	
清掃費	400,000		400,000	367,089	32,911	
機械警備費	120,000		120,000	89,214	30,786	
設備保全費	1,003,000	0	1,003,000	508,990	494,010	
空調衛生設備保守	250,000		250,000	225,019	24,981	
消防設備保守	100,000		100,000	63,046	36,954	
電気設備保守	100,000		100,000	25,232	74,768	
害虫駆除清掃保守	50,000		50,000	12,405	37,595	
駐車場設備保全費	50,000		50,000	12,405	37,595	
その他保全費	503,000			100.000		
共益費			503,000	183,288	319,712	
	0		0			
その他	0		0	59,515	△ 59,515	子篇, 指字類
修繕費	474,000		474,000	75,162		予算:指定額
公租公課	904,000	0	904,000	983,231	△ 79,231	
事業所税			0		0	
消費税	904,000		904,000	983,231	△ 79,231	
印紙税			0		0	
その他			0		0	and the second second
その他		1,901,588	1,901,588	1,904,136		スペース確保モデル事業
支出合計	19,483,010	1,901,588	21,384,598	18,247,014	3,137,584	
差引	0	0	0	3,160,384	△ 3,160,384	

自主事業費 収入	0	0	0	15,800	△ 15,800	
自主事業費 支出	1,206,000	0	1,206,000	95,409	1,110,591	
自主事業 収支	△ 1,206,000	0	△ 1,206,000	△ 79,609	△ 1,126,391	
**************************************						口品がは田弥可(白肥絲)による毛袋の切り

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

<sup>※</sup>各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

## 令和5年度「神之木地域ケアプラザ」 収支予算書及び報告書(一般会計)<包括等>

収入の部 (単位:円)

Pro 1-2 Hi						(TE:13)
科目	当初予算額	補正額	予算現額	決算額	差引	説明
TIE	(A)	(B)	(C=A+B)	(D)	(C-D)	8/6-71
指定管理料【包括】	35,130,982		35,130,982	35,130,982	0	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,873,341		5,873,341	5,873,341	0	横浜市より
自主事業収入(指定管理料充当の自主事業)【包括】			0		0	
自主事業収入(指定管理料充当の自主事業)【介護予防】			0		0	
自主事業収入(指定管理料充当の自主事業)【生活支援】			162,000		162,000	
雑入	0	0	0	7,340	△ 7,340	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0	7,340	△ 7,340	
その他	162,000		162,000	162,000	0	
収入合計	41,320,323	0	41,320,323	41,327,663	△ 7,340	

#### 支出の部

出の部						
TVD.	当初予算額	補正額	予算現額	決算額	差引	
科目	(A)	(B)	(C=A+B	(D)	(C-D)	説明
件費	37,875,323	0	37.875.323		Δ 1,840,215	
rr <del>具</del> 本俸	21,507,323	U	21,507,323	32,912,361	△ 11,405,038	
社会保険料	4,500,000		4,500,000		△ 630.265	
手当計	11,000,000		11,000,000	960,191	10,039,809	
健康診断費	50,000		50,000		△ 23,685	
勤労者福祉共済掛金	30,000		30,000	73,060	0	
退職給付引当金繰入額	800,000		800,000	600 560	171,438	
返職和刊引当並採入領 その他				628,562		
	18,000	0	18,000	10,474	7,526	
<b>務費</b>	1,054,000	0	1,054,000		△ 3,325,395	
旅費 消耗品費	30,000		30,000	42,190	△ 12,190	
	250,000		250,000	627,687	△ 377,687	
会議賄い費	10,000		10,000		2,743	
印刷製本費	100,000		100,000	215,856	△ 115,856	
通信費	200,000		200,000	509,980	△ 309,980	
使用料及び賃借料	150,000	0	150,000	172,712	△ 22,712	
自販機目的外使用料(横浜市への支出)	0		0	<u> </u>	0	
その他	150,000		150,000	172,712	△ 22,712	
備品購入費	50,000		50,000		50,000	
図書購入費	20,000		20,000		20,000	
施設賠償責任保険	50,000		50,000	57,864	△ 7,864	
職員等研修費	20,000		20,000	41,095	△ 21,095	
振込手数料	50,000		50,000	75,228	△ 25,228	
リース料	0		0	70,220	0	
手数料	50,000		50,000	33,660	16,340	
地域協力費	00,000		00,000	00,000	0	
その他	74,000		74,000	2,595,866	△ 2,521,866	
<b>業費</b>	1,134,000	0	1,134,000		482,871	
<del>* 5</del> 協力医	630,000	U	630,000	441.000		予算:指定額
励力医 自主事業費(指定管理料充当の自主事業)【包括】	270.000		270.000			J 奔·旧定银
				57,778	212,222	
自主事業費(指定管理料充当の自主事業)【介護予防】	154,000		154,000	152,351	1,649	
自主事業費(指定管理料充当の自主事業)【生活支援】	80,000		80,000		80,000	
その他	4 404 000		0		0	
<b>埋費</b>	1,131,000	0	1,131,000		△ 250,256	
光熱水費	754,000		754,000	587,767	166,233	
清掃費	100,000		100,000	97,580	2,420	
機械警備費	40,000		40,000		16,285	
設備保全費	237,000	0	237,000		101,705	
空調衛生設備保守	80,000		80,000	59,814	20,186	
消防設備保守	20,000		20,000	16,758	3,242	
電気設備保守	20,000		20,000	6,706	13,294	
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000	3,297	6,703	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	107,000		107,000	48,720	58,280	
共益費	0		0	· ·	0	
その他	0		0	536,899	△ 536.899	
その他 <b>着費</b>	126.000		126,000			予算:指定額
看食 祖公課	126,000	0			106,025	
	U	U		•		
事業所税	+ +		0		0	
消費税 Covered	+ +		0		0	
印紙税	1		0		0	
その他			0		0	
の他			0		0	
出合計	41,320,323		41,320,323		△ 4,826,970	
差引	0	0	0	△ 4,819,630	4,819,630	
自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	504,000	0	504,000	210,129	293,871	
九十亩米 加士				,		

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	504,000	0	504,000	210,129	293,871	
自主事業 収支	△ 504,000	0	△ 504,000	△ 210,129	△ 293,871	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

<sup>※</sup>各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

# 令和5年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:神之木地域ケアプラザ

令和5年4月1日~令和6年3月31日

(単位:千円)

	科目		第1号介護	予防支援•介護	予防支援		居宅介護支援		地域密着型通所介護·第1号通所介護		
			予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入		21,720	20,111		10,560	11,382	-822	57,429	50,948	6,481
	その他		0	42	-42	0	42	-42	756	921	-165
		事業·負担金収入			0		42	-42	756	921	-165
					0			0			0
					0			0			0
					0			0			0
					0			0			0
		その他		42	-42			0			0
	収入合計(A)		21,720	20,153	1,567	10,560	11,424	-864	58,185	51,869	6,316
	人件費		4,180	4,142	38	11,632	12,405	-773	39,429	34,723	4,706
	事務費		111	341	-230	344	1,064	-720	3,437	4,001	-564
	事業費		32	33	-1	22	45	-23	5,273	4,886	387
	管理費		611	563	48	754	715	39	2,870	2,914	-44
	その他		14,550	13,775	775	0	0	0	3,900	3,907	-7
		利用者負担軽減額			0			0			0
支 出		消費税			0			0			0
_		介護予防プラン委託料	14,550	13,775	775			0			0
					0			0			0
					0			0			0
					0			0			0
		その他			0			0	3,900	3,907	-7
	支出合計(B)		19,484	18,854	630	12,752	14,229	-1,477	54,909	50,431	4,478
	収支(	A) – (B)	2,236	1,299	937	-2,192	-2,805	613	3,276	1,438	1,838